



トルコ –トルコ中央銀行が緊急利上げ–

POINT



利上げの背景

5月23日(現地時間)、トルコ中央銀行(以後中銀)は当初6月7日に予定されていた金融政策決定会合を緊急前倒しで開き、後期流動性貸出金利を13.5%から16.5%へ3%引上げました。

今回の利上げの背景には、①高止まり状態のインフレ率への対応、②下げ止まりを見せないトルコリラへの通貨防衛、③中銀へ圧力を掛け続けるエルドアン大統領に対する中銀の独立性保持への意思表示等があったのではないかと考えられます。

POINT



高インフレ傾向が継続

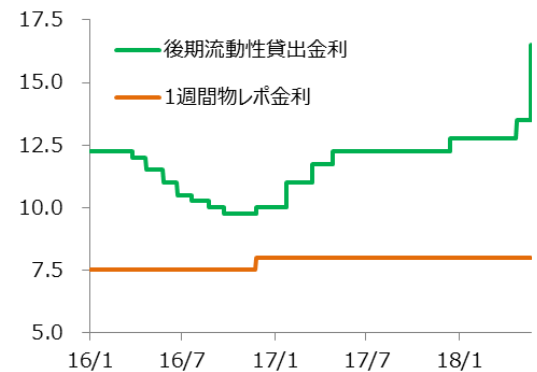
4月のインフレ率は前年同期比で+10.85%(コアは+12.24%)と高止まりしています。中銀が目指しているインフレターゲットは、+5%±2%(下限3%~上限7%)であり、大幅に上回っている状況です。今後の金融政策において最も注目される指標です。

今後の見通し 不安定な動きがしばらく続く

今回の利上げにより、トルコリラへの投資魅力は高まった一方で、エルドアン大統領の中銀への圧力を強める趣旨の発言による政治リスクに加え、シリアやイスラエル首都問題等の中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクの高まりから、当面、トルコリラは不安定な動きとなることと考えられます。

–政策金利の推移–

(2016年1月1日~2018年5月23日)



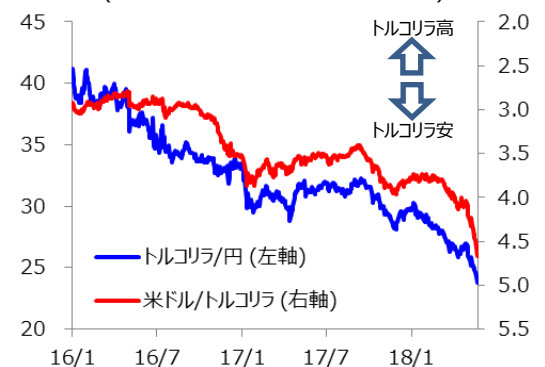
–インフレ率の推移–

(2016年1月~2018年4月)



–トルコリラの推移–

(2016年1月1日~2018年5月23日) (トルコリラ)



出所：Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわすみん
大和住銀投信投資顧問
 Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会